

重点戦略

4

安心と住みよさが実感できる生活環境づくり

まちづくり宣言12 交通インフラが充実した住みよいまちづくりを進めます。

① 現状認識

- ・本市の公共交通網は、JR常磐線と関東鉄道竜ヶ崎線の鉄道、民間路線バスとコミュニティバスで構成されています。
- ・市民アンケートでは、公共交通機関の利便性に対する満足度が依然として低く、大きな課題となっています。
- ・自家用車の普及や少子化の進行により、通勤通学者の利用が減少し、関東鉄道竜ヶ崎線や民間路線バスなどの公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。一方で、高齢化が進み、自家用車を利用できない高齢者が増加しつつあります。
- ・通勤通学者の関東鉄道竜ヶ崎線利用を促進するとともに、高齢者、子どもにも利用しやすく、市内各地域へ移動しやすい公共交通網の構築が必要です。

② 宣言が目指すまちの姿

充実した公共交通網により、車に頼らず、便利に移動できます。高齢者も積極的に利用し、地域間の市民交流が盛んです。

③ 実践に向けての考え方

(1) 公共交通サービスの充実

事業者や関係団体との協力により、各公共交通機関の連携を強化し、利用者の利便性を向上させるとともに、公共交通の利用促進を図ります。

(2) JR常磐線佐貫駅周辺の環境整備

本市の玄関口であるJR常磐線佐貫駅周辺の駅前としての機能向上に努めます。

(3) 自転車利用の促進

地球環境にやさしい自転車の利用を促進します。

市民の役割

地球環境にやさしい自転車や公共交通機関を積極的に利用します。

行政の役割

事業者、関係団体等と連携し、市民ニーズを踏まえた、質の高い公共交通の提供に努めます。

4 主要事業

主要事業名	内 容
優先プロジェクト 高齢者向け市内公共交通 定期券の発行 新規 ※再掲	市内路線バス・関東鉄道竜ヶ崎線・コミュニティバスの利用が可能となる高齢者向け共通定期券を発行し、利便性の向上と利用促進を図ります。
コミュニティバスの充実 新規	コミュニティバスの充実を図るとともにコミュニティバスを補完する新たな交通体系の構築を進めます。
関東鉄道竜ヶ崎線の活性化 新規	通勤通学時間帯に竜ヶ崎駅へアクセス ^{*1} するバスを運行し、通勤通学者の関東鉄道竜ヶ崎線の利用を促進します。
竜ヶ崎線運行終了後の 深夜バス運行 新規	深夜の帰宅にも対応したJR常磐線佐貫駅からバス路線を確保し、公共交通利用者の増加を図ります。
JR常磐線佐貫駅前の 機能向上 新規	交通結節点としての機能強化を図るとともに、玄関口に相応しい環境整備を推進するための手法検討を進めます。
自転車の乗りやすい環境づくり	安心して自転車に乗れる快適な環境整備に努めます。

5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性に満足している市民の割合(%) ※公共交通の利便性に関する市民の評価を見る指標	21.0	26.0
2. コミュニティバス年間利用者数(人) ※コミュニティバスの利用状況を見る指標	190,331	200,000
3. 佐貫駅1日当たりの平均乗車数(人) ※佐貫駅の利用状況を見る指標	14,550	15,300
4. 関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅1日当たり平均乗車数(人) ※関東鉄道竜ヶ崎線の利用状況を見る指標	1,250	1,320
5. お年寄りが生活しやすい施設・サービスに満足している市民の割合(%) ※高齢者福祉施策に関する市民の評価を見る指標	18.3	23.3
6. 交通安全対策に満足している市民の割合(%) ※交通安全に関する市民の評価を見る指標	34.1	39.1

*1アクセス：目的地への交通手段。